

## 電波ウォッチ / 取扱説明書・保証書

### 取説No. G-D47d

このたびはデジタル電波時計をお買い上げいただき、ありがとうございます。この取扱説明書は各モデル共通になっております。正しく安全にお使いいただく為、**ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。**

- 製品や説明書の内容は改良などのため、予告なしに変わる事があります。
- この時計によって生じたいかなる支出・損益、その他の損失に対しては一切責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- この取扱説明書は許可なく変更・複製しないでください。

## 保証書

製品型番	
お買い上げ日	年 月 日
保証期間	お買い上げ日より1年間
お客様	ご氏名： ご住所： T E L：
販売店	

◎**お買い上げ時のレシートは、必ず保管してください。返品・交換の際、必要となります。**
※本保証書は下記保証規定により無料修理を保証するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※ご購入頂いたお客様の情報は、保証期間内のアフターサービス、及びその後の品質向上の為に利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
本保証書は、日本国内でのみ有効です。The Guarantee Valid only in Japan.

### 保証書について

この商品をご使用中、正常なご使用状態で自然故障を生じた場合は、下記保証規定により所定期間内無料修理致します。

- 時計本体のみが、保証の対象となります。
- 保証の方法 / 修理、調整が原則です。修理の際、ムーブメントやモジュール、レンズ、ケース、文字盤、針、バンド等是一部代替部品を使用させて頂くことがありますので、御了承ください。
- 保証を受けるための条件（手続） / 修理、調整の際は必ず現品に保証書を添えて、販売店までご連絡ください。修理に関わる運賃・諸掛りはお客様にてご負担願います。
- 保証の適用除外
※保証期間中でも次の場合は、有料修理となりますのでご了承ください。
\*誤ったご使用、お客様ご自身による修理、改造又は、お取扱の不注意による故障。
\*保証書のご呈示がない場合。
\*天災、火災による故障。
\*保証書にお買い上げ店名、お買い上げ年月日のご記入がない場合、或は字句を訂正された場合。
\*電池交換。
\*ご使用中に生じる外観上の変化（ケース・レンズの小キズ、汚れ等）。
\*過度の衝撃や振動を与えた場合の故障。
\*防水保証範囲を超えて（お風呂・プール等）のご使用
※内部に水が入った場合。
\*保証書の再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。
\*修理内容の記録は修理伝票にひかえさせていただきます。

### アフターサービスのご案内

- 本製品は、厳重な品質管理を行っておりますが、万一修理の必要が生じた場合は、お手数ですが下記までご連絡いただくか、お買い上げいただいた販売店までお持ちくださるようお願い申し上げます。尚、ご送付の際は破損や紛失防止のため適切な梱包の上、お送りください。
- 一部商品につきましては、特殊なベルト固定仕様となっており、一般店では電池交換が出来ない場合があります。そのような場合は、クレファアアフターサービスにて電池交換を有償にて承ります。詳しくはクレファアアフターサービスまでご連絡をお願いします。

<p><b>製造元 株式会社クレファア</b> 〒104-0041 東京都中央区新富1-15-3新富ミハマビル3F</p> <p><b>株式会社クレファアお客様専用ダイヤル</b> 固定電話でのお問い合わせ <b>0120-336-288</b> (土日休日を除く平日10:00~12:00 / 13:00~17:00)</p> <p><b>株式会社クレファアアフターサービス</b> 〒252-0134 神奈川県相模原市緑区下九沢1638-1 TEL:042-703-1785 FAX:042-700-1106 (土日休日を除く平日10:00~12:00 / 13:00~17:00)</p>
---

### 機能

- ①電波受信機能とは独立行政法人情報通信研究機構の標準電波を受信して、自動的に時刻を修正する機能。※自動受信や手動受信中（電波受信マークが点滅中）には、ボタン操作しないでください。電波受信が行われない場合があります。
- ②時計機能
- ③カレンダー機能（月、日、曜日）
- ④12/24時間表示機能
- ⑤時報機能（チャイム）
- ⑥アラーム機能
- ⑦カウントダウン機能
- ⑧デュアルタイム機能
- ⑨リセット機能
- ⑩ELライト機能
※暗闇での時刻確認等に便利です。
- ⑪クロノグラフ機能
\*1/100秒から23時間59分59秒まで
\*1/100秒まで表示するストップウォッチ機能
\*スプリットタイム機能

### 製品仕様

受信周波数	： 40kHz(福島局)と60kHz(九州局)の自動選局（JYJ）
クォーツ精度	： 平均月差 ±60秒(5～35℃以内で使用した場合)
防水機能	： 5気圧防水
電池寿命	： 約3年
受信機能	： 1日に3回（AM12:00、AM4:00、PM6:00）、手動受信機能

### 各部の名称

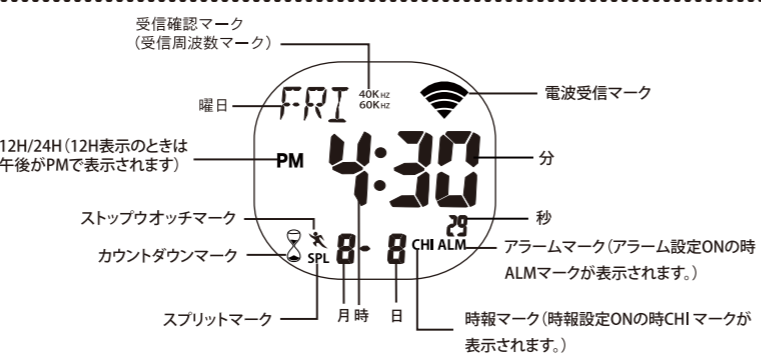
※本取扱説明書に記載されている図は一例です。文字のデザインや表示はモデルによって異なります。



通常時刻表示の時にBボタンを押していくと、以下のような順番で表示が切り替わります。

時刻表示→ストップウォッチ→アラーム→カウントダウン→デュアルタイム表示
--------------------------------------

### 液晶ディスプレイ 以下のような表示で現在の状況を知らせます。



- 受信すると受信確認マーク(40kHzまたは60kHz)と電波受信マークが表示されます。但し、Dボタンでマニュアル設定モードにしてから通常時刻表示モードに戻すと、受信に成功しても電波受信マークは消えてしまいます。
※40kHz(福島県おたかどや山)・60kHz(福岡県と佐賀県の県境はがね山)
- 曜日表示は以下の様に表示されます。(SUN/日・MON/月・TUE/火・WED/水・THU/木・FRI/金・SAT/土)

### ご購入後の時刻合わせ

#### 電波受信について

- 受信について
時計を水平の状態にして、12時方向を電波送信所のある方向にゆっくり回しながら向けて、受信状態の良い位置を探してください。
40kHz：福島県田村市 おたかどや山
60kHz：佐賀県佐賀市 はがね山
- 次のような状況では受信が難しい場合があります。
  - ・鉄筋/鉄骨の建物の中、およびその周辺
  - ・車、電車、飛行機等の乗物の中や磁気を発する家電製品の近く
  - ・高圧電線やテレビ塔の近く
  - ・ノイズ発生場所の近く(空港、工事現場、高速道路等の交通量の多い道路等)

#### 自動受信について

自動受信は1日にAM12:00、AM4:00、PM6:00の計3回受信機能が働き、電波を受信します。但し、日に1回自動受信に成功すると、その日の自動受信は行われなくなります。又、電波受信後に一度マニュアルで時刻設定を行った場合、次に行われる1回目の自動受信はAM12:00になります。

#### 手動受信について

Cボタンを約3秒間押しますと(ピッと音が聞こえます)強制受信機能が開始され、マークが点滅し始めます。(手動受信を開始してから約4分後に受信は終了しますが、電波状況によってはそれ以上掛かる場合もあります。また受信に失敗した場合は時計の向きを確認し再度強制受信を行ってください。それでも受信しない場合はマニュアル時刻セットで時刻を合わせてください。)

#### 電波の受信状況について

電波の受信状況は以下のように表示されます。
※受信中は大変良好のマークが点灯する場所で受信を行ってください。

電波受信マークの受信表示	受信結果の表示
<p>大変良好      弱い      とても弱い</p>	<p>受信成功</p>

#### 液晶表示誤差について

液晶表示の誤差は電波受信直後で±1秒以内です。

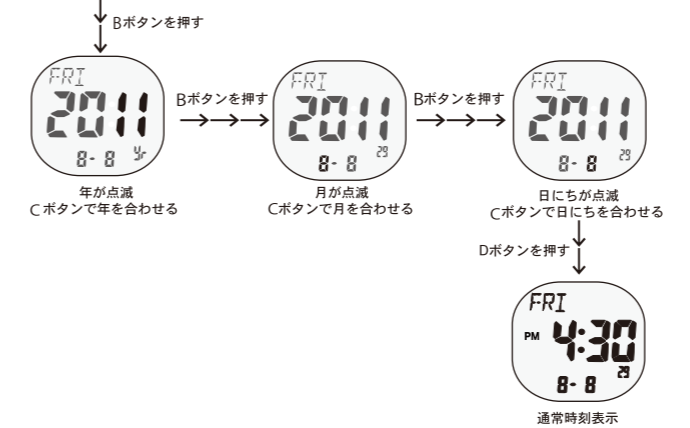
### 通常(マニュアル)時刻設定の方法

#### マニュアル時刻セットについて

電波の受信出来ない場所では、マニュアルで時刻を合わせることが出来ます。電氣的なノイズや天候の状況により受信状況が良くない時や、地下などの電波が届かない場所で時刻を合わせる時にご使用ください。

#### マニュアル時刻のセット方法

- 通常時刻表示モードの時にDボタンを約3秒押すと(ピツという音が鳴ります) 12/24時間表示設定の画面が表示され、12/24時間選択部分の数字が点滅しますのでCボタンで12/24時間を設定してBボタンを押してください。
- 次に秒が点滅しますので、Cボタンを押すと秒が“00”から数上げていきます。
- 次にBボタンを押すと時が点滅しますので、Cボタンで時を合わせてください。
※この時、1回ボタンを押す毎に数値は1単位ずつ進み、押し続けると早送りできます。
- 次にBボタンを押すと分が点滅しますので、Cボタンで分を合わせてください。
- 次にBボタンを押すと西暦が表示され、点滅しますので、Cボタンで年を合わせてください。
- 次にBボタンを押すと月が点滅しますので、Cボタンで月を合わせてください。
- 次にBボタンを押すと日にちが点滅しますので、Cボタンで日にちを合わせてください。
※曜日は自動カレンダー機能により自動的に表示されます。
- 全ての設定が終了しましたら、最後にDボタンを押すと通常時刻表示モードに戻ります。
※設定時に約1分以上ボタンを押さないと画面は通常時刻表示モードに戻ります。



### クロノグラフモードについて

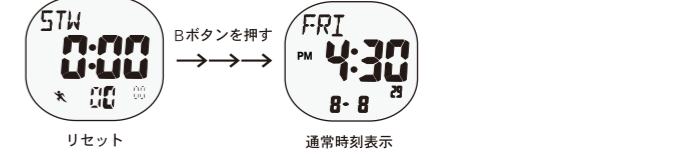
クロノグラフモードには、ストップウォッチ機能とスプリットタイム機能があります。

#### ストップウォッチ操作方法

- 通常時刻表示モードの時にBボタンを押すと、ストップウォッチ機能になります。(曜日の表示が“STW”に切り替わり画面左下にマークが表示されます)
- そのままの状態、Cボタンを押すと計測がスタートし、再度Cボタンを押すと計測がストップします。(Cボタンを押すことにより計測スタート、ストップ、スタート…を繰り返します)
- Dボタンを押すと計測時間がリセットされます。
- Bボタンを押すと通常時刻表示モードに戻ります。



- 通常時刻表示モードの時にBボタンを押すと、ストップウォッチ機能になります。(曜日の表示が“STW”に切り替わり画面左下にマークが表示されます)
- そのままの状態、Cボタンを押すと計測がスタートします。
- 次にDボタンを押すとスプリットタイム(途中経過時間)を表示します。この間も計測は続いています。(スプリットタイム表示中はの下にSPLと表示されます。)
- 再度Dボタンを押すと計測中画面に戻ります。
- Cボタンを押すと最後の記録が表示されます。
- Dボタンを押すと計測時間がリセットされます。
- Bボタンを押すと通常時刻表示モードに戻ります。



### アラーム時刻の設定について

#### アラーム時刻設定方法

- 通常時刻表示モードの時にBボタンを2回押すとアラーム時刻設定モードが表示されます。(曜日の表示が“ALM”に切り替わります)
- 次にDボタンを約3秒長押しすると(ピツという音が鳴ります)時が点滅しますので、Cボタンで時を設定してください。
- 次にBボタンを押すと分が点滅しますので、Cボタンで分を設定してください。
- 次にDボタンを押すとアラーム時刻が設定され、最後にBボタンを押すと通常時刻表示モードに戻ります。
※アラームは約30秒間鳴ります。又、アラーム音はどのボタンを押しても止まります。
※Cボタンを長押しで早送りできます。



#### 時報、アラームのON・OFF

- 通常時刻表示モードの時にBボタンを2回押してアラーム時刻設定モードを表示します。
- 次にCボタンを押すとALMマークが表示され、アラームがONになります。
- 再度Cボタンを押すとCHIマークが表示され、アラームOFFになります。このとき、時報がONになります。
- 再度Cボタンを押すとALMマークとCHIマークが表示され、アラームと時報の両方がONになります。
- 再度Cボタンを押すとALMマークとCHIマークが消えてアラームと時報の両方がOFFになります。
- 最後にBボタンを押すと通常時刻表示モードに戻り画面にはONの内容が表示されます。

※CHI▶時報 ALM▶アラーム

